

世界たすけになくってはならない人材に育てよう



少年ひのさしん隊本部練成会 7/30~8/6



第529号
 発行所
 天理教北海道教務支庁
 札幌市中央区南8条西11丁目
 電話 011(561)-1148
 FAX 011(561)-1190
 E-mail: kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
 印刷
 三浦印刷株式会社

9月は『にをいかけ強調の月』

…《一斉活動日》…

9月28、29、30日

28日は教会長路傍講演の日



全教一斉にをいかけデー

第28回 女子青年大会 会場日程

日々親神様、教祖に心をつなぎ
ご恩報じのできる女子青年に育ちましょう

教務支庁

9月4日(日)10時~

網走大教会

9月18日(日)12時~

夕張大教会

10月30日(日)10時~

函館(松風分)

10月30日(日)10時~

雨龍大教会

11月5日(土)12時~

教務支庁

12月3日(土)10時~

天理教を紹介します



天理教基礎講座

TENRIKYO BASICS COURSE

どなたでも
お聞きいただけます

天理教のことを知っている方はもちろん、まったく初めての方にも親しみやすい内容になっています。

《北海道会場の御案内》

10月1日(土) 13時30分 留萌会場
 10月10日(月・祝) 13時30分 教務支庁
 11月6日(日) 13時30分 教務支庁
 本部講師 弘長 健 (周東大教会長)

- 分かりやすい例え話を交えながらのお話で自分自身の行動を改めようと思えました。(20代男性)
- 初心に戻って信仰しなければと思えました。(40代男性)

北海道教区のホームページ <<http://www.tenrikyo-hk.com/>> 教区報がご覧頂けます。

おちばで躍動『どさんこ魂』!!
20年ぶりに
『どさんこの集い』開催

今年の夏は、教祖130年祭、少年会創立50周年の特別なこともおちばがえりでした。29日の夕づとめ前、教区団の呼びかけに
応じて、道内から帰参の25団体
418名が東左5講堂に集結し、西
垣教区長も参加して、「ようこそ、お帰り」と子供たちを迎えました。

20年ぶりのどさんこの集いとなつただけに、係員も各団体の
スタッフも、勝手がわからず、応援や選手の人選にも困惑して
いましたが、ヨットレースをはじめとする競技が始まると、迷い
も抜けて、パワー全開。おらの
チームの優勝目指して、4ゲー
ム(ヨット、ビンゴ、キャタピ
ラ、ムカデ)で熱戦が繰り広げ
られました。スタッフも応援に
加わり声をからす過熱ぶりで、優
勝は僅差で空知支部チームでし
た。

閉会式で、道産子の集いの開
催について団長から「40年前、私
も少ひ隊の隊員として参加し、お
ちばに集った北海道の道の子の
動きを知って感動し、それが今
の私を形作っています。教祖130

年祭、少年会創立50周年の節目
のこの年に、そんな思い出を作
る機会をと思い、道産子の集い
を計画し、こうしてたくさん
の参加して頂き、ご協力を頂
き有難うございました」と挨拶。



おちばで味わうお道の仲間意識
というものの大切さを語りまし
た。参加の25団体は、競技ばか
りか応援などでも結束が深ま
り、子供オリンピックの良さを
かみしめて、散会していきまし
た。

少年ひのきしん隊の隊員は、そ
の日から合宿に入り、8月5日
までの猛暑の中、おちば帰り後
半を、隊員30名、カウンセラ
ー、サブカン17名、スタッフ13
名の計60名で勤めさせて頂きま
した。本当に暑いおちばでした
が、時折り今まで感じたことの

ない涼しい風が吹き、教祖が扇
子で仰いでくださっているよう
な心地よさも感じました。

今年のカウンセラー、サブカ
ンを勤めて頂く方々に、事前に
「自分の教祖を子供たちに伝え
て下さい」とお願いしました。

そのお陰でお茶接待のひのきし
んやしこみ・伏せこみ行事に、例
年より2日多く参加し、体力的
にハードな日程でしたが、精神
的にも一回り大きくなって、熱
いおちばを体感できたと思いま
す。

少年会員のこれからの育成に
向けて、益々励んで勤めさせて
頂きますので、何卒変わらぬご
協力、お力添えを頂きますよ
う、よろしくお願い申しあげま
す。

少年会教区団長 久米田 忠彦

【感想文】

●中1 松尾柊花(北釧路)

今年の少年ひのきしん隊の中
で一番印象に残ったことは、私
の具合が優れなかったときに、周
りにいた隊員が心配して声をか
けてくれたり、カウンセラーの
先生方も薬や氷水をくれたり、近
くにいてくれて励ましてくれた
りしました。たくさんさんの支えの

おかげで、私はパレードや行進
コンテストなどに出場できまし
た。なので私も明日から周りを
よく見て具合が悪い人やケガを
している人を励ましていき、助
け合いの輪を広げていこうと思
いました。

●中2 久米田喜久子(北盛)

今年の二回目の少ひは、副班
長という「責任感」があったの
で本当に緊張し去年よりも疲れ
ました。少し苦手を仲間がい
て、対応に悩みました。でも、仲
間に相談すると、団長さんが「苦
しみを仲間に話せば、苦しみは

少しずつ少なくなる」と話して
くれたので、本当なんだと思
いました。

●中3 大山琢人(北港)

僕は少ひに来て人生観が百八
十度変わりました。僕は本当に
一、二年生の時に少ひにきてれ
ば良かったと後悔しました。

少ひは受験勉強よりも、部活
よりも、家で自由に過ごすこと
よりも、得るもの、学ぶ物がた
くさんあると思いました。僕は
そう断言出来ます。僕は少ひで
学んだことを生かして、少ひに
函館支部からたくさんの方がで
るように全力を尽くします。

●中3 松村日奈(智恵文)

私は初めて少年ひのきしん隊
に参加しました。知らない人ば
かりでとても緊張したし、話し
かけるのが苦手なので一人でい
ることが多かったです。でも周
りの人が話しかけてくれてとて
も嬉しかったです。後の活動も楽
しくなりました。話せる友達が
いることの嬉しさを知ることが
できました。

今後はこの少年ひのきしん隊
で学んだことを生かして、みん
なで声をかけ合って、友達を大
切にしていきたいです。とても
充実した一週間を過ごさせて毎日
が楽しかったです。





小樽



函館



釧根

全道各地で

「ハートクリーンキャンペーン強調デー」開催

—「大望」誌の取材も—

青年会では7月に各支部においてハートクリーンキャンペーン

ン強調デーを開催した。毎月開催されているハートク

リーンキャンペーンの内容、動員の充実を図る上から毎年7月を強調デーの月と位置付け、活動を展開している。本年も本会から提唱されている『家族ぐるみで参加しよう』のテーマのもと、青年会員はもとより、少年会員をはじめ幅広い年代層から参加があった。

また渡島支部には本会からの取材があり、天候の悪い中、支部を挙げて多くの方が参加されました。(青年会本部発刊大望9月号掲載)

富良野支部では会場教会周辺

お道の高校生の熱い夏!!

「学生生徒修養会・高校の部」開催

—

全国から大勢の高校生がおおむねに集い、教養を学び実践する1週間。不安と緊張の中で出会った班員と共に、一人ひとりの喜びや悩みに寄り添って過ごすこの「学修」は、かけがえのない友情を育み、生涯忘れ得ぬ感激を味わえます。

今年も北海道から24名が参加。以下は参加者の感想文です。

【感想文】

■高1 三谷紋可(養樹)

今回は学修に参加させていだいて、本当にありがとうございます。はじめはとても緊張して

のゴミ拾い終了後にトウキビ狩りひのきしんを実施し、参加した方に大変喜んでもらいました。

ハートクリーン

キャンペーンは支部青年会活動の根幹の一つと言えます。月に一度、支部内の会員が集まり勇ませ合う場があります。参加の声掛けを宜しくお願い致します。

て、班の人と馴染めるか心配でしたが、日が経つうちに緊張もとけ、みんなと打ち解けることができました。

この1週間で、あいさつや仲間と助け合うことの大切さを改めて学ぶことができました。

学修で学んだことを忘れずに、常に感謝の気持ちを持って、これからの生活に活かしていきたいと思っています。

■高2 和田理人(平取)

僕が学修に参加したキッカケは兄弟が勧めてくれたからです。「絶対面白いから」と言ってくれ、自分も少し興味があったからです。

学修当日、期待と不安が入りまじるなか、カウンセラーさんが緊張をほぐしてくれて、班の人ともすぐ仲良くなれました。次の日からレクチャーが始まり、親神様のお働きを深く学ぶことができました。班の人たちとも仲良くなり、毎日が楽しかったです。

道の学生ひのきしんデー

9月19日(月・祝)

※会場により日程が異なる場合がございます。

北海道教区学生会、道内各地13会場にて開催予定

詳しくは...

教区学生会・学生担当委員会

011-561-1148

学修に参加して沢山の友達ができ、最高の夏休みになりました。来年の春学には地元の友達誘って参加します。そして、これからも学生会活動に積極的に参加していきたいです。

■高3 渡邊美月(鹿水)

私は高校三年生のこの夏、初めて学修に参加しました。

学修には以前から親戚の方に勧められていて自分でもずっと行きたいと思っていました。最終の年に参加することが出来ました。

始まる時には、学修前に参加していた行事の疲れから北海道に早く帰りたい気持ちもありましたが、始まってみると楽しくて、班の人とも仲良く過ごせて居心地の良い時間でした。また、授業の中ではよるぶよ八首のおてふりの時間に、手の振り方とその意味を知ることができて本当に勉強になりました。

そして、学修に参加してよかった大きな理由は道外の人とのつながりができるということです。つながりができる事でまたおちばに帰った際に会える楽しさが増えます。北海道から、仲間一人一人に会いに行くのはなかなか難しいですが、おちばに帰れば会うことができるかもしれません。今回の学修でできたつながりをこれからも大切にしていきたいです。学修に参加することができて本当に良かったです。

全教で初の試み

旭川市と防災協定 旭川支部災救援隊

天理教災害救援ひのきしん隊 北海道教区旭川支部隊（今井浩一隊長）は8月2日、旭川市と防災協定書調印式を行った。市町村と支部との防災協定は全教を通じて初めてのことである。

同支部では、昨年の年末ごろから旭川市に防災協定を申し入れ、今年の2月には市から協定を結ぶ方向で調整を行っているとの連絡があった。それから半年が経過、調整が整い、調印式の運びとなった。

当日は、市側は西川将人・旭川市長はじめ、玉田伸二・防災安全部長、矢野博己・防災課長、佐藤雅一・主幹、教内からは支部隊長の今井氏、藤崎実・旭川支部長、松下義之・総務部長、そして後見として、奥村尚人・北海道教区隊長が出席。

午後1時30分、西川市長と今井隊長の調印式が執り行われ、その後、天理教災害救援ひのきしん隊活動紹介ビデオが上映され、隊の概要や道内でのこれまでの実績、東日本震災、今年の熊本での活動等が説明された。これにより、市との連携が強化

され、有事における迅速な救援に結びつくことが期待されるため、市長も防災部長も「旭川市は災害の少ない地域として、この60年ほどは過ごさせています

が、自然は何があるかわかりませんから、心強い事です」と協定締結を喜んでいました。この事がスムーズに進んだ陰では、消防署、消防団、市役所側によろばくさんがいて働いたとのこと。

藤崎支部長も「市の要望に応える動きをせんとならないというプレッシャーも感じるが、年祭の年に、ようぼくがおたすけにつながる活躍を進められたことは、実に喜ばしい」と、手放しで喜んでいました。



釧根支部で総会と「ハート

クリーン夏祭り」を開催

釧根支部（栗栖文夫支部長）では、7月24日茂尻矢分教会を会場におつとめ総会を開催した。参加者は少年会を合わせて

80名でした。

まずはおつとめまなび（三交替）をつとめさせて頂き、昼食をはさみ二部は式典。その後、記念講演として、教区主事、網走支部長・倉内章次先生に信仰の道すがらについてお話しいただいた。

支部一体となって少年会、学生会はじめ老若問わず、ようぼく育成の上に力を合わせていくことを確認できた総会でした。又、前の週の17日（日）に



は、釧路千代ノ浦マリパークにて、青年会による「ハートク

リーン夏祭り」を開催。教区より藤田大和副委員長の巡回があり、周辺の港のゴミ拾いのあと、焼き肉会を開催し、共に親睦を深めた。

参加者72名

けいじばん

◎青年会緑化ひのきしん

立教179年9月3日午前9:00
集合・受付、とうや湖「コミュニティセンター」

◎学生会「まなびば」

（前日より宿泊可能）
開催のお知らせ
日時 9月3〜4日紋養分教会

◎法律に関する諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記（渡部）までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式

をおこなっております。
（どうぞご参拝下さい）

◎第11回「教区音楽祭」

—音楽でつなぐ心の絆—
日時 10月2日（日）
午後1時開演

場所 北海道教務支庁
（入場無料）

出演団体
北陸団高台鼓笛隊、洲本団統

北鼓笛隊、夕張団鼓笛隊、小樽支部鼓笛バンド、北海道教区合唱団（コール・ノースピュア）、他、出演団体募集中。

訃報

- ・本家 艶子様 7月5日出直（86歳）
- ・鬼志別分教会前会長夫人（宗谷支部）
- ・藤山 寛様 7月5日出直（86歳）
- ・呼人分教会前会長（網走支部）
- ・石川 道敏様 7月13日出直（86歳）
- ・北當分教会前会長（上川支部）
- ・内田 清道様 7月30日出直（85歳）
- ・松風分教会前会長（函館支部）

北海道教務支庁日誌抄

- 7月22日 図書修理会
- 23日 教区合唱団練習
- 26日 本部月次祭遙拝式



7月29日
「どさんこの集い」
おぢばで開催

- 8月4日 任命願書発送
- 6日 たすけ推進会議
- 7日 支部長会議
- 8日 天理教学を学ぶ会
- 10日 学修飛行機便出発
- 18日 事情願書発送
- 18日 教区報編集会議